

残席わずか

ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」【会場】

(4124180)

「ルール強化はもう限界」ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」。本セミナーは「命令でエラーを防止することは難しい、人間は内発的要因である『意欲』や『やりがい』によって動機付けされる」との理念に基いて「人間力」を改善活動の基盤として構成しています。「ケーススタディ」や「ワークショップ」を楽しく体験しながら「人間重視のヒューマンエラー防止法」を学んでいただくと共にセミナー教材を教育にご活用いただけます。

開催日時	2024年5月22日(水) 10:00-17:00会場
カテゴリー	業務連携付キット【セミナースケジュール】
講演	開発充 氏 （「ユーモアクリティック」代表、元「富士通」社員）人材開発専門家、シニア・レクチャラ・上級教育者（「学習」） 主な講演題：人材開発の実践事例を語る、富士通（株）、品質基盤部門、有識者講師部等でセミナー開催部門において過激・金融・官庁部門のシステム開発マネジメントに関する（途上、未だ工学研究所所長研究員）。近年、品質問題を抱える本部組織の品質改善に従事し（主担当部、品質保証部員）。S.I分野で日本初のOM&DMI®レベル5を達成、社長賞＆最高品質賞受賞。定年退職後、現に個人開発部門において「わくわく塾」元気改善＆品質改善講座を開講。多くのセミナーおおきにリーダー＆品質改善プロフェッショナルを育成。2011年、富士通を退職。その後、「人間力操縦」を基盤にした各種セミナー、講演、企業研修・コンサル等、3万人以上の方々への指導を行ってている。 ■著書：「人間重視の品質マネジメント」「ソフトウェア品質評議会システムの基礎と実践」（SRC）；沼田 謙美、開 充、高嶋 幸生。 ■講演：江川工場にて「人間重視の品質マネジメント」2013年4月に講演の「人間重視の品質マネジメント」セミナー一場所止」についての野村記者会見。
参加費	JUAS会員：7TC: 35,200円 一般：45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) (受講権利枚数1枚)
会場	※2024年4月より移転しました※一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NIPES)新設スカラップ2F
対象	人材を主にした作業や運用に従事している方。リーダー、マネージャー、品質管理担当者、人材育成担当者、組織的な改革に携わっている方など [PR]
開講形式	講義／グループ演習
定員	25名
実績ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
登録申込期限	2024年4月26日(火) 17:00

## 主な内容

受講形態

会場のみ（オンラインなし）

## ■ テキスト

当日配布

### ■開催日までの課題事項

特になし。

”ルール強化はもう限界”

ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」

#### ◆受講後の修得知識

- 1) ヒューマンエラー防止のための「仕組み考案のコツ」
  - 2) 「人間力醸成法」
  - 3) 「リスクマインド醸成法」
  - 4) 「品質＆改善マインド醸成法」
  - 5) 「全員参加型改善活動の実践法」
  - 6) 「具体的な導入方法」

## ◆セミナー内容

第1章 ヒューマンエラーと人間重視

## 1. 1 ヒューマンエラー防止活動の基盤

- 1) ヒューマンエラー防止活動と「価値観の認識」
  - 2) 人間のタイプと改善活動

## 1.2 ヒューマンエラー防止と本セミナーの主張

- 1) 何故ヒューマンエラーが繰り返されるのか？
  - 2) エラーが起きる前にやるべき効果的防止法

## 第2章 失敗を繰り返さないための「人間力の醸成

## 2.1 「失敗の構図」と「品質問題の発生」

### ② ③ 人間重視と人間力の醸成

- 1) 人間重視の品質改善
  - 2) 「ねくねく」感と人間力醸成の構図

### 2.3 ヒコ・ラシエテーとヨミニニキ・シニシの対比

- ## 1) 演習1「トラブルと人間関係」

### 第3章 ヒューマンエラー防止のための「動機付け」ケーススタディ

#### 3. 1 人を動かす仕組み考案のコツ

- 1) 「人を動かす仕組みの考案」
- 2) 「人間重視型思考パターン」

#### 3. 2 「動機付けする」ケーススタディ

- 1) 演習2：「人を動かす再発防止計画」
- 2) 人を動かす「再発防止計画1」

### 第4章 エラー防止のための「リスクマインド醸成」ワークショップ

#### 4. 1 簡単にできる「問題発生防止」

- 1) 「ヒューマンエラー防止」と「リスク管理」
- 2) 「管理者と現場の乖離」を踏まえた「仕組み考案」
- 3) 演習3：「ヒューマンエラーとリスク管理」

#### 4. 2 「リスクマインドの醸成」と「リスク管理の仕組み」

- 1) 「リスク意識の高い集団」と「リスクマインドの醸成」
- 2) 人を活かし動かす「リスク管理」の仕組み事例
- 3) 人を動かす「再発防止計画2」

### 第5章 エラー防止のための「品質＆改善マインド醸成」ワークショップ

#### 5. 1 エラーを防ぐ「品質＆改善マインドの醸成」

- 1) 「品質＆改善マインド」の醸成事例
- 2) 演習4：「ヒューマンエラー防止と改善提案」

#### 5. 2 「わくわく」感を生み出す「全員参加型改善活動」

- 1) 「全員参加型改善活動」の仕組み事例
- 2) 「改善意識の高い組織」と「全員参加型改善活動」
- 3) 人を動かす「再発防止計画3」

### 第6章 失敗を繰り返さないための「具体的な実践方法」の勧め

### 第7章 実践に向けての「動機付け」

### 第8章 「実践に向けてのご質問」と「エール」

(注) ケーススタディやワークショップを体験いただき、

現場で即、役立つ内容にしたいと考えております。

\*\*\*\*\*

#### ■受講者の声：

- 目から鱗が落ちる思い、エラー対策を行ってきたが作業者がやる気をなくした状態だった。
- セミナーによりいかに相手のやる気を出させるか、不平、不満の改善等にたどり着くことができた。ちょっとだけ相手の立場に寄り添う等、今日の朝礼から早速実践。とても良い内容だった。
- ヒューマンエラーは半ば「諦めの課題」だった。今回ようやく受講でき、お話を伺い、明日からの業務に活かすことができると思った。